

正しい「GL工法」の手引き

「タイガーGLボンド」は、1970年(昭和45年)に吉野石膏が日本で初めて販売を開始して以来、実績を重ね、現在ではくせっこう系接着材によるタイガーボードの直張工法)として「公共建築工事共通仕様書」(国土交通省大臣官房長官官営繕部監修)にも記載されている一般的な内装材施工方法として、公共、民間工事を問わず普及しています。

しかしながら、近年は、緻密な高強度コンクリートの普及、剥離剤(離型剤)や養生剤の残存による悪影響、必要な工程を省略する等により、GL工法の基本である“接着力”が確保できず、剥離に至るケースが散見されます。

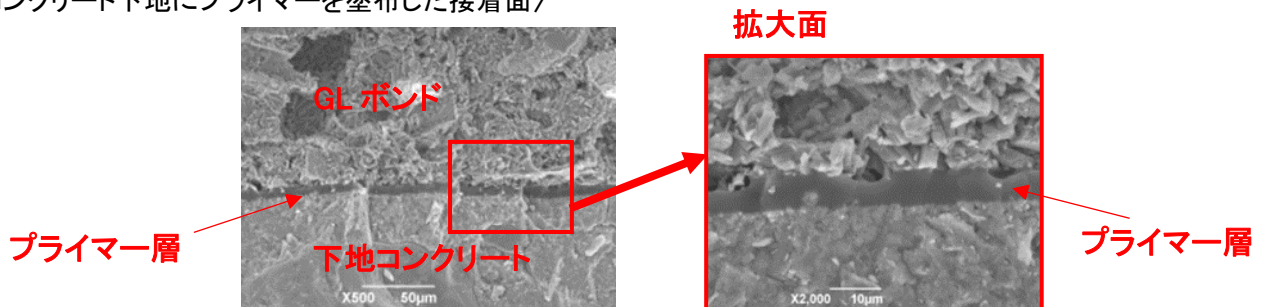
こうした事故を防止するために、GL工法をご採用頂きました皆様には下記の「GL工法必須4ヶ条」を再度チェックし、遵守して頂きますようお願いいたします。

〈GL工法必須4ヶ条〉

1条：下地には必ずプライマーを塗布する

離型剤の付着した下地、養生剤を塗布した下地は、吸水性が乏しくなるため、GLボンドの接着力が低下します。プライマーを塗布することでGLボンド中のせっこうがプライマーと密着し、十分な接着力が得られます。

〈コンクリート下地にプライマーを塗布した接着面〉



例1：コンクリート下地へのプライマー処理

●スーパータック(アクリル系エマルジョンプライマー)による処理

希釈倍率	塗布量	処理面積
 3倍液(スーパータックA 1:2 水) または 3倍液(スーパータックR 1:2 水)	150~200g/m ² (ローラーによる塗布)	約310m ² /18kg缶

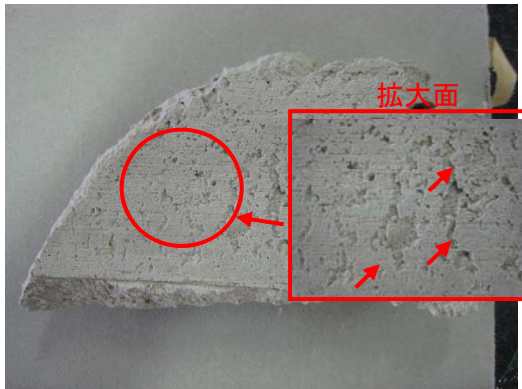
※スーパータックが乾燥した後は、速やかに次工程に移ってください。



YOSHINO
安全で快適な住空間を創る 吉野石膏

2条：下こすり と コテ圧を十分に

十分な接着力を得るためにはコテ圧をかけて下こすりし、GLボンドのダンゴもコテ圧をかけて塗りつけます。そうすることで接着面が緻密になり接着力が増します。



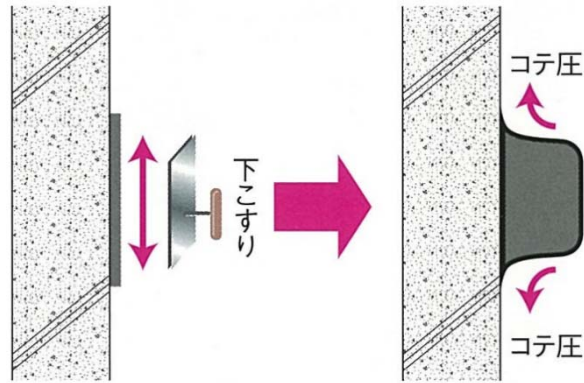
〈下こすりをしなかった接着面〉

十分に密着せず接着面に隙間が出来る



〈下こすりをした接着面〉

十分に密着して隙間がない



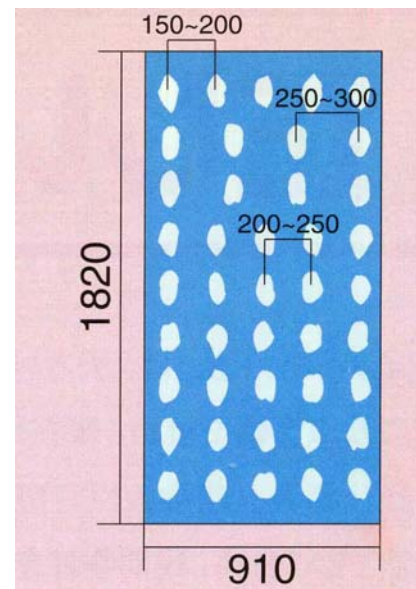
下こすり と コテ圧 を十分に

3条：塗り付けピッチを守る

GLボンドの接着力は、接着面積に左右されます。塗り付け数を省くと接着面積が少なくなり、必要な接着力が確保できず、剥離する危険性があります。

●GLボンド塗り付けピッチ(公共建築工事共通仕様書による)

施工部位	塗り付けピッチ
腰壁部(床上1.2m以下の部分)	200~250mm
腰壁上部(床上1.2mを越える部分)	250~300mm
せっこうボード周辺部	150~200mm

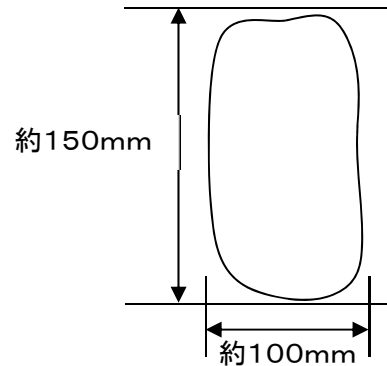


4条：ダンゴサイズ（塗付量）を十分に

3条と同じ理由で、ダンゴのサイズが小さくなると接着面積が少なくなり、接着力が確保できずに剥離する危険性があります。



●仕上厚さ(20~25mm)の場合の標準ダンゴサイズ



●GLボンドの使用量

仕上げ厚	GLボンド使用量
20~25mm	約3~4.5kg/m ²

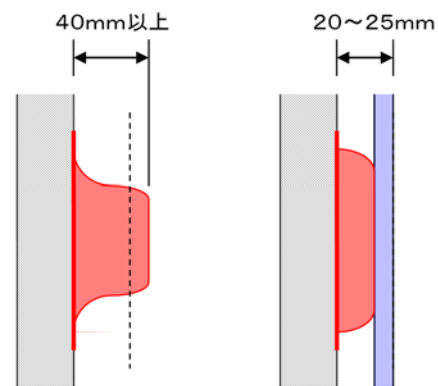
※1袋で4.4~6.6 m²(仕上げ厚 20~25mmの場合)施工可能



〈GLボンド荷姿〉クラフト紙袋20kg入り

●ダンゴの塗り付け高さ

GLボンドのダンゴ厚(塗り付け高さ)は仕上げ厚の約2倍とします。



仕上げ厚20~25mmの場合

〈仕上材についての注意事項〉

GL工法で施工したタイガーボードに化粧板等の上張りを行う場合は、面重量が増し、GLボンドへの負担が大きくなります。必須4ヶ条を守らないGL工法下地に上張りを行い、剥離にいたるケースが発生しています。面重量が増す上張りを行う場合のGL工法では、より確実に必須4ヶ条を守って施工するようにしてください。

※ 詳細な施工方法については「GL工法」カタログ及び「GL工事仕様書」をご参照ください。



安全で快適な住空間を創る
YOSHINO
吉野石膏株式会社

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル
ホームページ (URL) <http://www.yoshino-gypsum.com/>

ISO登録

■ISO9001 技術本部・技術研究所・エンジニアリング部・知的財産部【工場】東京
草加・千葉第一・千葉第二・千葉第三・三河・今治・北九州・北海道吉野
日東石膏ボード・小名浜吉野・新潟吉野・ジブテック(秋田・小名浜・高砂)

■ISO14001【工場】三河・今治・北九州・日東石膏ボード

札幌支店	☎011(221)6465	旭川営業所	☎0166(47)3680	静岡営業所	☎054(253)5101
仙台支店	022(262)4421	青森営業所	017(777)0261	神戸営業所	078(302)3062
新潟支店	025(245)7681	盛岡営業所	019(624)0877	高松営業所	087(834)2001
北陸支店	076(233)5275	郡山営業所	024(934)9310	岡山営業所	086(226)4500
北関東支店	048(643)6151	宇都宮営業所	028(643)6066	松江営業所	0852(37)1646
東京支店	03(3216)1717	高崎営業所	027(321)6163	北九州営業所	093(521)5018
横浜支店	045(651)3541	千葉営業所	043(246)7011	鹿児島営業所	099(225)1015
名古屋支店	052(223)2661	柏営業所	04(7144)1611	沖縄出張所	
大阪支店	06(6449)1000	立川営業所	042(528)0581		
広島支店	082(248)0494	長野営業所	026(228)3091		
福岡支店	092(451)5315	相模原営業所	042(752)1951		
セラミック営業部	03(3216)2670				

●詳細についてのお問合せは 吉野石膏DDセンター ☎03(3284)1181 FAX03(3284)1194